

第10回利賀ダム建設事業監理委員会審議結果

1. 日 時：令和4年5月26日(木) 13:30~15:10

2. 場 所：Web会議

3. 審議結果：

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・事業を巡る社会情勢等について説明し了承された。

○第9回委員会の審議結果について

- ・第9回委員会の審議結果について報告。

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・令和4年度の工事計画について説明。
- ・利賀ダム本体の施工計画と貯水池斜面对策について、第二回基本計画以降に詳細設計により変更した点を説明。
- ・利賀ダム本体及び右岸地盤変動域対策では掘削時の上下作業による落石等の安全管理を含めた施工となることを説明。
- ・押場の斜面对策工の施工について、多工種を狭いところで同時に施工していくことから、施工には徹底した安全管理や進捗管理が必要であることを説明。

【委員からの意見】

- ・貯水池斜面对策の実施にあたっては、引き続き地元や関係者への丁寧な説明を行っていただきたい。
- ・貯水池斜面对策について、一部は県の地すべり防止区域であるため関係機関と法に基づいた協議や調整をしっかりと進めていただきたい。
- ・これから本体・地盤変動域・貯水池斜面对策に着手するにあたって、地盤・地質が複雑であるため、設計・施工の段階でも綿密に観察して、想定と違う地質が出てきても適切に対応できるような体制を確保していただきたい。土木研究所では国土交通省の本省と連携して「土木事業における地質地盤リスクマネジメントのガイドライン」というものを出しており、調査・設計・施工に渡ってリスクマネジメントできるように提案しているので検討していただきたい。
- ・本体や貯水池斜面对策の切土を行っていくと思うが、切土を行うと応力開放となり、崩落の恐れがあるのでこれまで以上に安全対策にしっかり取り組んでいただきたい。
- ・本体の施工では昼夜施工という体制がしばらく続くため事故という面、従事者の健康という面についても考えてもらいたい。

○コスト縮減等について

- ・これまで実施したコスト縮減策及び今後予定しているコスト縮減計画について説明。

【委員からの意見】

- ・斜面对策は点ではなく、面で管理していただき周辺の地すべりに留意していただきたい。
- ・コスト縮減計画については、対策の効果等も踏まえ、必要に応じて見直す必要がある。
- ・現場の安全管理に十分に配慮した上で、事業執行の効率化やコスト縮減を一層進め、総事業費の抑制とともに、計画的かつ1日も早い完成を図るよう努めていただきたい。
- ・実際にダムが機能するという段階が遅れないというのが重要である。
- ・当面のコスト縮減(案)は(案)を取って実施されたい。

○まとめ

- 本体着工に向けた転流工事が順調に進められる見通しである。
- 第2回基本計画変更以降、本体工事や貯水池斜面对策工事の設計が進捗し、事業費に大幅な変更が無い見込みであることが示された。
- ダム本体及び貯水池斜面对策の工程について妥当であることが確認された。非常に厳しい現場であることから、しっかりとした施工計画の検討が必要である。
- 転流工事、利賀トンネル工事及び押場地区貯水池斜面对策においてもコスト縮減が図られており、今後もコスト縮減に努められる見通しである。
- 昼夜の施工に関して健康面を含めた安全対策が全体の進捗を確保するうえで重要である。
- 今後の工程では斜面掘削が多数含まれる予定である。斜面掘削は、設計、施工において最も不確実性が高いという特徴がある。したがって、仮設物の撤去を含めて、完成時点に至るまで、現場の安全性にはより一層の留意が不可欠である。また、斜面は現場付近だけでなく面整備の周辺の地下水を把握した方が良い。
- 利賀ダム建設事業は適切に管理されている。